

浅間山の生立ち

浅間山は10万年前から何度も噴火をくりかえしてきた活火山です。



歴史時代の主な噴火災害

昔の記録に残っている浅間山の噴火災害のうちとくに被害が大きかったものを紹介します

天明の噴火

天明の噴火は、1783(天明3)年5月9日*に始まってから、噴火したり収まったりを繰り返しながら、次第に活動が大きくなっていきました。7月27日*頃から噴火が連続するようになり、8月4日から5日*にかけて、最も激しい噴火が起こりました。(※新編)

発生した現象	火山灰 ・ 噴石 ・ 吾妻火砕流 ・ 鎌原土石なだれ ・ 天明泥流 ・ 沓掛泥流 ・ 鬼押し出し溶岩流
主な被災地域	山麓の鎌原集落 ・ 軽井沢町(当時の軽井沢宿) ・ 吾妻川沿いの地域
死者	・ 1400名以上
倒壊家屋	・ 1000棟以上

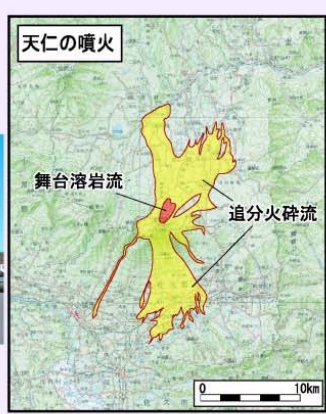
天仁の噴火

1108(天仁元)年にも、浅間山は大噴火を起こしました。古い時代のことなので天明の噴火ほどの記録は残っていませんが、中御門右大臣藤原宗忠の書いた「中右記」に噴火のときの様子が記されています。

発生した現象	火山灰(前橋で20センチメートル以上の厚さに積もりました) ・ 噴石 ・ 追分火砕流(約80平方キロメートル以上を覆いました) ・ 舞台溶岩流 [火山噴出物の量は天明の噴火の2倍以上]
--------	--

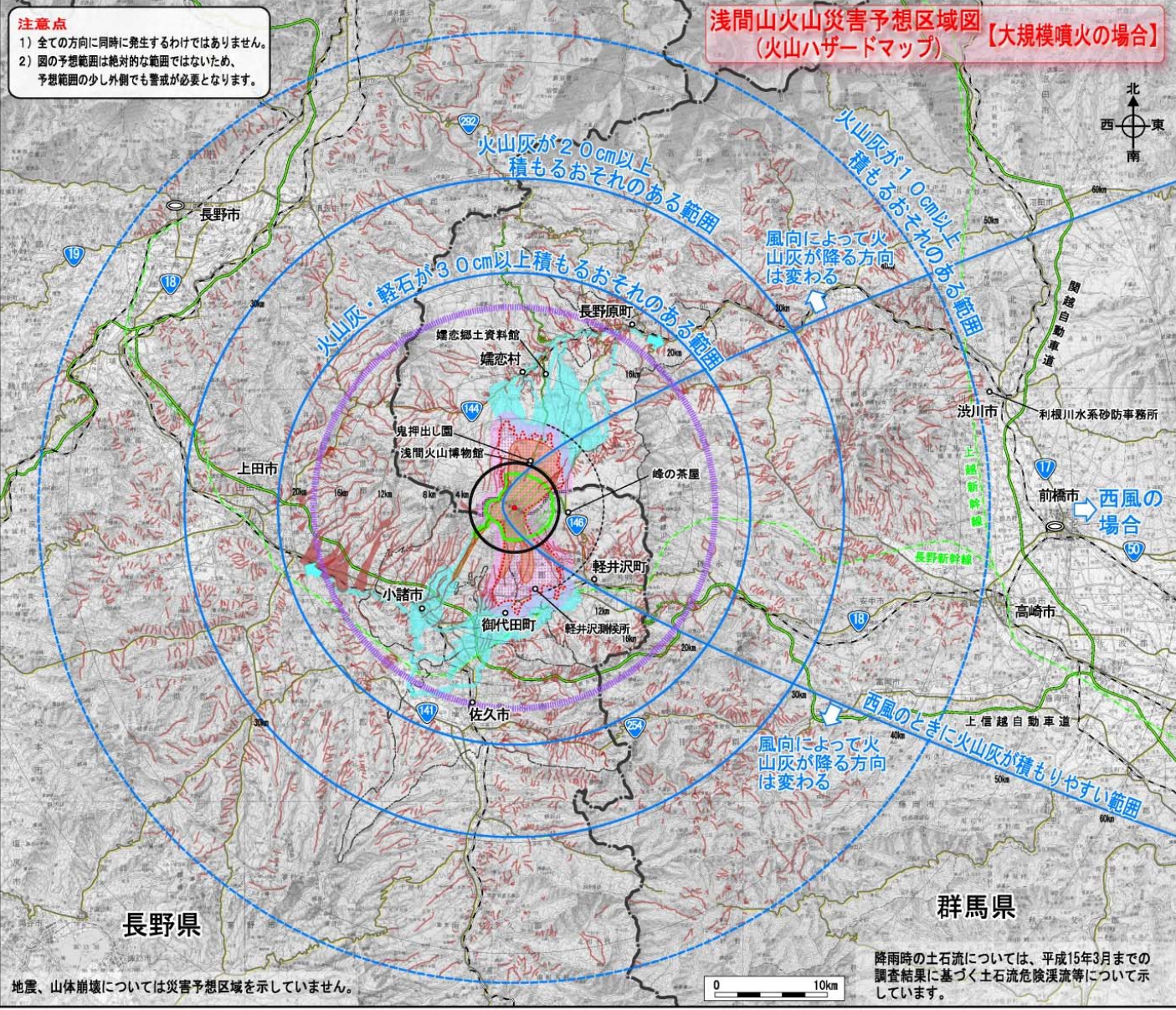


「国内に麻間峯という高山がある。治暦年間に煙を噴いたが、その後しばらく収まっていた。天仁元年七月二十一日に猛然と噴火を始め、煙は天まで登り、砂礫は国内に降りそそぎ、国内の田畑は全滅してしまった。一国の被害でこれほどひどい例は未だかつてない。稀な不思議の事件なので記し置くものである。」
十旧暦 「中右記」の現代語訳

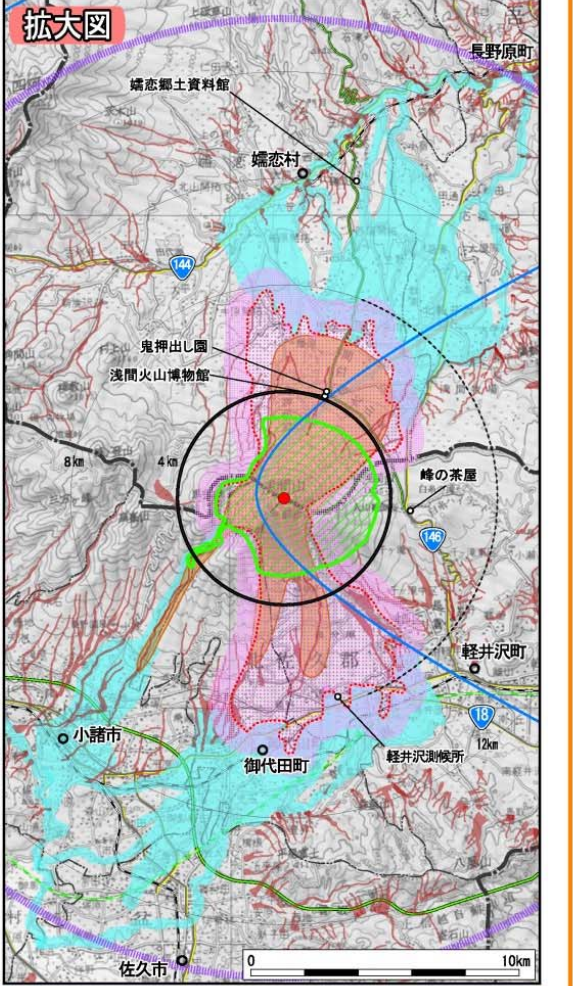


もしも天明の噴火のような大噴火がおきたら...

浅間山は過去2千年間に3回の大噴火を起こしました。たくさんの被害を出した「天明の噴火」もそのうちの一つにあたります。



この欄に示す2枚の予想図は、天明の噴火と同じような大規模な噴火が、浅間山の山頂火口から北側(群馬県側)あるいは南側(長野県側)に向かって発生した場合の災害予想区域を示しています。



記号の色と意味	想定火口	火山ガス	噴石	空振	火山灰(降灰)	降雨時の土石流	火砕流と熱風	融雪型火山泥流	溶岩流
	浅間山の山頂火口を想定しています。	高濃度のガスが溜まりやすい予想範囲です。	実線: こぶしより大きい噴石が飛んでくる予想範囲です(半径4km)。破線: 風下側で小石が飛んでくる予想範囲です(半径8km)。	空振による被害を受ける予想範囲です(半径18km)。	火山灰が積もる予想範囲です。大規模噴火の時には軽石も混ざって降ります。	降雨時の土石流の流下予想範囲です。	火砕流と熱風の流下予想範囲です。	積雪期の融雪型火山泥流の流下予想範囲です。	溶岩流の流下予想範囲です。

避難施設

避難の際には、村役場からの指示に従って行動してください。避難が必要になった時には、防災行政無線などで村役場から噴火の被害を受けにくい避難施設が指定されます。

下に示した噴火の影響範囲は、天明の噴火と同規模の噴火が発生したときの予想範囲です。なお、これよりも大規模な噴火が起きた場合には、さらに広い範囲に影響が及ぶと予想されます。

避難に関する問い合わせ先

嬭恋村役場 電話 0279-96-0511

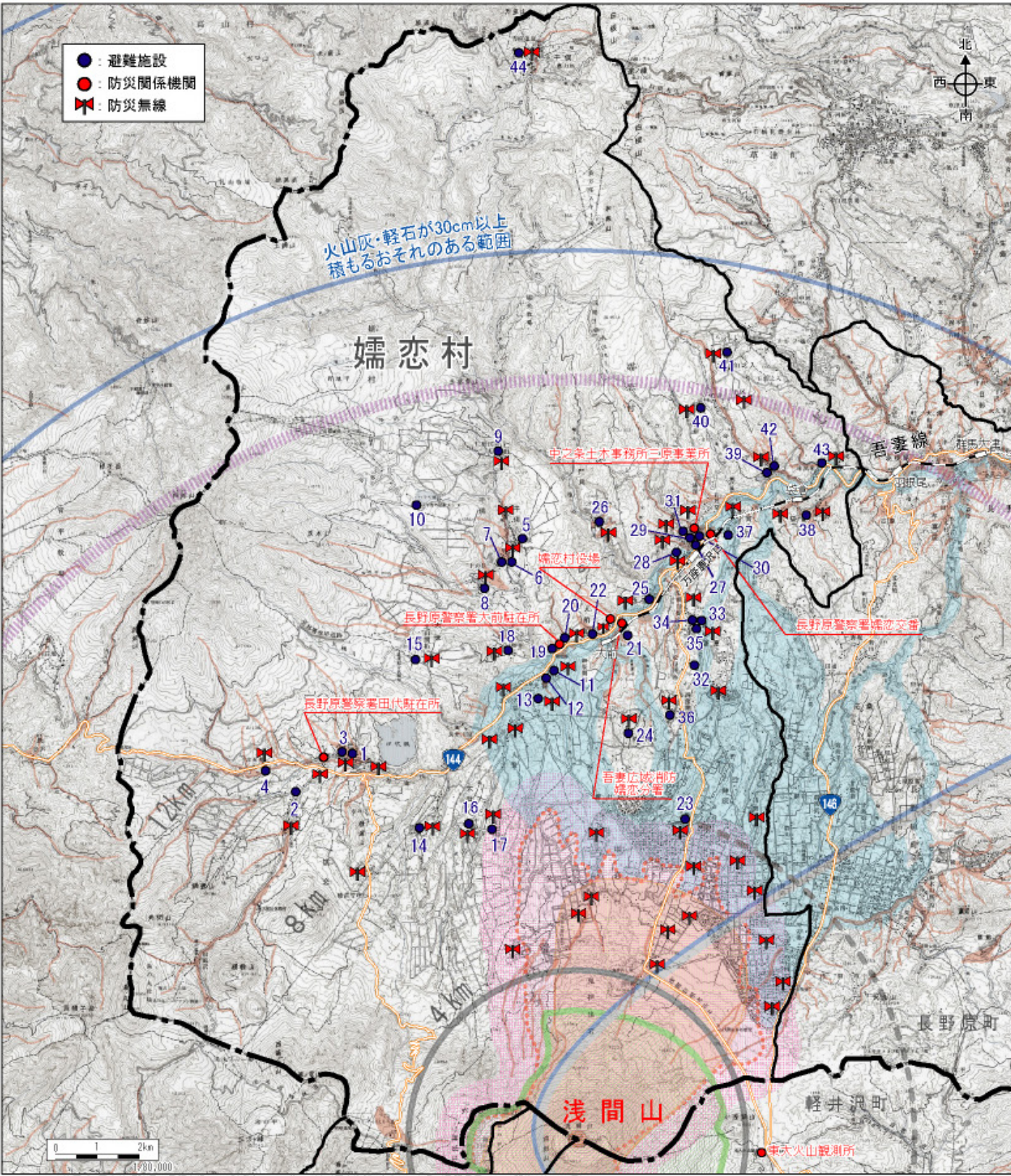
地区別の避難施設一覧

地区	連番	施設名	所在地	電話 (0279)
田代	1	田代小学校	田代438	98-0042
	2	田代幼稚園	田代651	98-0243
	3	田代コミュニティセンター	田代418-3	98-0837
	4	古永井集落センター	田代561-1	98-0272
千俣	5	千俣小学校	千俣1313	96-0454
	6	千俣幼稚園	千俣356	96-0931
	7	千俣生活改善センター	千俣365	96-1778
	8	上ノ目生活改善センター	千俣 甲68	96-1953
	9	仁田沢集落センター	千俣2407-171	96-1954
	10	バラキ地区住民センター	千俣2401	96-1150
大笹	11	西中学校	大笹1654-2	96-0009
	12	大笹幼稚園	大笹176-1	96-1032
	13	大笹公民館	大笹1720-1	96-1871
	14	大平集落センター	大笹3449-670	96-1957
	15	北山住民センター	大笹1979-376	96-1956
	16	中原集落センター	大笹3140	96-1727
	17	山原集会所	大笹2808	96-1959
	18	砂井集会所	大笹2084	96-1958
大前	19	西小学校	大前 甲905	96-0013
	20	大前幼稚園	大前792	96-1027
	21	大前生活改善センター	大前1000	96-1851
	22	大前活性化センター	大前395-1	96-0946
	23	浅間地区住民センター	大前2279-4	-
	24	細原集落センター	大前2146-1	96-1722
西窪	25	西窪生活改善センター	西窪498-1	97-1108
門貝	26	門貝コミュニティセンター	門貝182	97-1107
	27	東中学校	三原691	97-3026
三原	28	東小学校	三原248	97-3015
	29	東部幼稚園	三原654-1	97-2670
	30	嬭恋会館	三原691	97-3004
	31	三原多目的集会所	三原502-1	97-3106
鎌原	32	鎌原小学校	鎌原1339	97-3008
	33	鎌原幼稚園	鎌原398	97-2344
	34	鎌原公民館	鎌原398	97-3983
芦生田	35	鎌原多目的活動施設	鎌原432-2	97-3942
	36	上ノ原住民センター	鎌原1248-2	-
	37	芦生田生活改善センター	芦生田480-2	97-1120
袋倉	38	袋倉生活改善センター	袋倉782-3	97-1109
	39	今井生活改善センター	今井812	-
今井	40	石津住民センター	今井1336-1	97-4318
	41	山ノ入集落センター	今井1062	97-4567
	42	今井集落センター	今井1130-1	97-2940
	43	半出来コミュニティセンター	今井248-3	97-1020
万座	44	万座住民センター	万座2401	-

※観光客、別荘滞在の方へ
避難を必要とするような大規模な噴火は、事前の兆候があるとされています。そのような情報はテレビやラジオから取得できます。村でも防災無線や広報車によってお知らせいたします。その場合は落ち着いて、村内の避難所ではなく安全な自宅へお帰りください。

防災関係機関連絡先

関係機関名	電話
役場	嬭恋村役場 0279-96-0511
消防	吾妻広域消防組合 0279-96-1190
	嬭恋消防団 0279-96-0511
警察	長野県警察署 0279-92-0110
	長野県警察署 嬭恋支署 0279-97-3025
	長野県警察署 田代駐在所 0279-98-0116
	長野県警察署 大前駐在所 0279-96-0126
火山観測	気象庁 軽井沢観測所 0267-45-1304
	東京大学 浅間火山観測所 0267-45-7551
ライフライン	東京電力 長野営業所 0279-92-2021
	NIT-NE 群馬(お客様センター) 113
その他	群馬県 中之条行政事務所 総務部経済課 0279-75-3301
	群馬県 中之条土木事務所 三原事業所 0279-97-3022
	国土交通省 利根川水害防衛事務所 0279-22-4177 (代表)
	財団法人 杉野・地すべり技術センター 03-5276-3272



記号の色と意味

- 想定火山口**: 浅間山の山頂火山口を想定しています。
- 火山ガス**: 高温のガスが溜まりやすい予想範囲です。
- 噴石**: 実線: 噴石が飛んでくる予想範囲です(半径4km)。破線: 風下側で小石が飛んでくる予想範囲です(半径8km)。
- 空振**: 空振による被害を受ける予想範囲です。(半径10km)。(半径15km)
- 火山灰(降灰)**: 火山灰が積もる予想範囲です。大規模噴火では降石も混ざって降ります。
- 降雨時の土石流**: 降雨時の土石流の流下予想範囲です。
- 火砕流と熱風**: 火砕流と熱風の流下予想範囲です。
- 融雪型火山泥流**: 積雪時の融雪型火山泥流の流下予想範囲です。
- 溶岩流**: 溶岩流の流下予想範囲です。

普段から災害に備えて

浅間山ではどのような噴火災害が考えられるのかこの「浅間山火山防災マップ」で知っておきましょう。

普段から非常持ち出し品を備えておきましょう。

地震に備えて家具の固定や壁の補強をしておきましょう。

家族みんなで避難場所を確認しておきましょう。

避難する場合は...

- あわてず落ち着いて行動する。
- 戸締り、電気、ガスの元栓を確認する。
- 貴重品を忘れずに持つ。
- 市街地では車を使わず歩いて避難する。
- お年寄り、赤ちゃん、身体の不自由な人、外国人などの避難を助けましょう。

もし噴火がはじまったら?

気象庁が発表する「火山情報」に注意しましょう。

村長から避難勧告などの指示があった場合には従いましょう。

臨時火山情報がでたら、その後のニュースや役場の情報に注意しましょう。緊急火山情報がでたら、いつでも避難できる準備をしましょう。

避難の格好

- ヘルメット
- ゴーグル
- マスク
- 手ぶくろ
- リュックサック
- 運動くつ
- 長袖の上着
- 長ズボン

災害用伝言ダイヤル(171)

避難時の安全情報の確認には、NTTの「災害用伝言ダイヤル」が便利です。

局番なしで「171」にかける。自動アナウンスにしたがって簡単に自分のメッセージを録音、知人の安全情報を再生できます。

避難のときの持ち出し品

噴火が長引くと、避難先で何日も暮らすことも考えられます。大切なものはすぐに持ち出せるよう、心がけておきましょう。

特に火山噴火の時に必要となるもの

- ヘルメット(防災ずきん) → 噴石や落下物から頭を守る。
- マスク → 細かい火山灰を吸い込むのを防ぐ。
- ゴーグル → 細かい火山灰から目を守る。

主な持ち出し品リスト

必要なものにしるをつけて、普段から備えておきましょう。

- 着替え、下着類
- 洗面用具、衛生用品
- 手ぶくろ・軍手
- かさ、カッパ
- リュックサック
- 毛布・タオル
- 非常食、し好品
- 懐中電灯と電池
- 携帯ラジオ、テレビ、電池
- 常備薬、救急箱
- 現金、小銭
- シート、ビニール袋
- ガムテープ(粘着テープ)
- (腕)時計
- 通帳、カード、印鑑、証券など
- 健康保険証
- 携帯電話(充電器など)
- ライター
- ちり紙、ティッシュペーパー
- ほ乳ビン、ミルク、おむつ、母子手帳(赤ちゃんがいる場合)
- お年寄り用常備薬など(お年寄りがいる場合)
- その他個人的な貴重品

※位牌や大切なアルバム、予備のメガネ、パソコンの重要なデータ、仕事の許可証など